

令和5年第8回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和5年8月9日(水)

2. 場 所 浅口市中央公民館視聴覚室

3. 開 会 午後1時30分

4. 閉 会 午後3時45分

5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 吉田英子

6. 説明のために出席した者の氏名

教育次長	難波勝敏	教育総務課長	瀬良昌弘
学校教育課長	池田一成	保育未来課長	笠原清美
ひとづくり推進課長	田中有正	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子	(事務局)	

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会議規則第29条により吉田委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日8月9日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第41号 準要保護の認定について
※非公開
(学校教育課長)
新規申請分1件について、資料により説明。
(教育長)

1件認定とする。

(承認)

日程 4 議案第 4 2 号 令和 6 年度使用特別支援学級教科用図書の採
択について

※非公開

(学校教育課長)

資料により説明。

(承認)

日程 5 議案第 4 3 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点
検・評価について

(教育次長及び各課長)

令和 4 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評
価報告書の自己評価及び評価委員による総合評価を報告。

(教育委員)

令和 4 年度はコロナ禍の中でもあり、その中で、本当によく
頑張っており、令和 3 年度よりも令和 4 年度の方が、前進し、
よく頑張った。

基本方針 1 の幼児教育・学校教育の充実の学校教育課につい
て、施設関係以外は自己評価を B としているが、決して目標
達成率 80% 程度ではないということを私は知っている。全
体的に多岐に渡るため B が付くかもしれないが、個々におい
ては A が付くところがある。自信を持って令和 5 年度に磨き
をかけ、A となるようにがんばって頂きたいところを述べる。

14 ページ、社会に開かれた学校作り、中学校含めどの学校
も、地域の人と連携をよくとっている。昨年、文部科学省の
オンライン研修の際、全国の事例を聞いたが、まだ地域の人
と連携すると学校が苦しいとか、仕事が増えるというレベル
の話をしているところがあった。浅口市は地域の人としっか
りと連携し、前に進んでいる。この部分は A の状態である
と思う。教職員の適正な配置と加配教員等の活用、浅口市は
一つの学校に多くの支援員、コーディネーター等がいる。加配
ができています。浅口市の教育委員会は頑張っていると思う。

25 ページ、デジタル社会に対応した教育の充実、令和 4 年
度の自己評価は B だが、令和 5 年度は A が付けられるのはな

いか。学校訪問を令和4年度に岡山県としたとき、端末を子どもたちが本当にしっかりと使いこなしていた。家庭に持ち帰り使えるようにしており、県の方もまだのところも多いのにと評価して頂いた。コロナ禍で色んなことが打撃を受けたが、このデジタルに関しては、すごく進歩し、子どもたちの身についてと思う。反省にて、活用に差があるとのことだが、差があるのは当たり前のことである。高いレベルでタブレットや電子黒板が使われている状況である。引き続き頑張っていたらいいと思う。

ひとつづくり推進課について、本当に多岐に渡り、様々な領域でよく頑張ったことを高く評価する。新しい時代に見合ったものを取り込んでいる。スマホ教室、ドローン教室、これから先、変わっていく、あったらいいなというところを早速に取り入れ、好評である。よく考え、先を見越してやっていると思う。29ページ、市民ニーズに対応した学習機会の提供内容は、天草学級などの老人大学について書かれているが、これと同じ内容が次の30ページの幅広い層へ学習機会の提供で、入っているのを統一することを今後検討してはどうかと思う。

保育未来課について、時代の変化に合わせて新しいことを計画し実行に移している。鴨方東幼稚園と鴨方西幼稚園で3歳児教育を行うことを計画し、準備をし、令和5年度からスタートして保護者に喜ばれている。大勢が入園してくれ、嬉しく思う。本当にきちっと計画し、実行することは素晴らしいことで、自己評価Aに値する。高く評価する。

それぞれの課が1年間よく頑張ったのがよく伝わった。

全体のデザインとしての意見だが、取組状況を示す欄の背景色が黒となっているのはインパクトがある。強調する場所ではないので他の色に変更することを希望する。

(教育長)

いろんなことを見ていただいて励みになる。訂正が必要なところは訂正する。

(教育委員)

全般的に概ね妥当な評価がなされている。25ページのデジタル社会に対応した教育の充実についての取り組み状況や実績を実際に学校訪問し見聞した結果、個人的には目標達成率

の90%以上に達しており、自己評価はAが妥当ではないかと思う。自己評価Aに至らなかった理由があれば聞かせて頂きたい。

(学校教育課長)

自己評価Bの理由の1つ目は、教職員のスキルにより、活用の程度に差が見られることである。どこまで求めるかということもあるが、今以上に教職員がデジタルツールを使いこなす形を目指しているため、そういう点でまだ目標に達していない。2つ目は、夜間利用の課題である。持ち帰りを始めたので、子どもによっては夜間に使用している現状がある。指導は学校で行ったが、改善が見られないということで、時間制限アプリを導入している。それによって改善はしているが、そういった方法についても課題であると捉えている。

(教育委員)

確かに今挙げた課題は大事な点であるが、国に先駆けてGIGAスクール構想を進めてきた浅口市の今までの取り組みを評価していくことも大事である。この報告書は公表するので市民も見ると、いろいろな方の目に触れる。市民へアピールすることも大きな意味がある。課題は確かにあるが、90%以上は十分達成できたと捉えてもいいのではないかと。

(教育長)

学校ごとの差があるということ、アプリを導入後の使用状況等をまた報告させて頂く。県が示している指標があり、その指標を達成できていないということもある。

(教育委員)

それはどういった指標か。

(学校教育課長)

後ほどお示しする。

(教育委員)

コロナ禍での活動状況、ICT機器の活用状況、国際交流においても使用している。そういった取り組み内容が非常に伝わってきた。適切に点検評価がなされている。27ページ学校施設の整備充実について、エアコンの新設・更新、照明器具の取替、様々な老朽化に伴って改修工事がある。その中で計画的に行っていることは評価できるが、やはりそれでも学校を訪問すると様々な直したいものがたくさんある。先ほど

もあったが、報告書は公表される。アピールということもある中で、施設の充実が自己評価がAというのはいかがなものか。満たされたものではないということがある中で、市民感情に考慮するとBという評価も妥当ではないかとも思う。

(教育総務課)

施設の老朽化が進んでいるので、子どもの安全を最優先に、危険性があるものから順次、改修を行っている。

(教育長)

計画しているものを年度内に実施することができたことで評価を行っている。老朽化の問題はある。その辺りの計画を立て評価に含んでいくことも課題として検討していく。

(教育委員)

報告書を公表していくが、市民が読みたいと思えるものかと思う。細かく出ているのは良い部分でもあるが、文字も多く一般の方向けになっていない。グラフや数値化されているものを取り入れ見やすい物にすることも方法の一つではないか。22ページの指標、朝食を摂取する生徒の割合があるが、こういった意図で指標としているのか。

(学校教育課)

生活の基本の部分であり、食育が重要視される中、指標の一つとして、重要なので選んでいる。

(教育委員)

これに対して指導があるのか。この数字を拾うだけのためなのか。

(学校教育課)

各校で指導している。指導した上で、結果を見て評価をしている。

(教育委員)

子どもたちも、朝食を摂取することによって健康な体作りになっているということを認識しているということか。

(教育長)

養護部会などで生活習慣作りの中での指標としている。これは全国学力学習状況調査の結果であるが、大切にしている項目となっている。

(教育次長)

目標を設定していく中で、指標のグラフ化や数値化、指標と

して適切かと言うこともあるが、評価の基準が課によって、偏っている部分があるという意見があった。令和5年度の評価では、課だけではなく事務局内で調整が必要であり、課題として認識している。今日頂いた意見も参考にし、見直しを行いたい。例として、施設整備は、予定していた施設整備ができたから自己評価Aという評価になっているが、教育委員が言われたように施設の老朽化もあり、計画を設定してから以降、年度途中でも不具合が生じており、補正予算で緊急に対応している。目標設定の仕方の部分を変えないと、評価は今年度と同じになる。その辺の意見も参考にし、今後改善していきたい。また、報告書の作成手順を令和5年度分からは検討させて頂き、評価委員への提案前に教育委員にお示しする機会を設けたいが、それがタイムスケジュール的に可能かを検討していくこととしたい。

(教育長)

令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について、承認してよろしいか。

(承認)

日程6 諸般の報告について

(学校教育課長)

義務教育学校について、7月7日に第1回開設準備委員会を開催した。また、準備委員会だよりを作成し寄島地区に配付している。内容は、義務教育学校の開設を準備するに至った経緯、義務教育学校の説明である。裏面には開設準備委員会の組織図を掲載している。開設準備委員会の地域部会が、校名を検討しており、校名の募集について掲載している。今後定期的にこういった「おたより」を発行していく。

校名募集の案内を出している。現在地域に募集を掛けているところである。締切は8月31日である。

7月22日に、寄島地区の住民対象に、義務教育学校の説明会を実施した。寄島地区の住民に義務教育学校について理解をしていただくために開催している。市民全体へは、小中一貫教育と義務教育学校についての二つの内容を盛り込んだものを作成し、9月に第1号を回覧する準備をしている。

(教育委員)

この義務教育学校開設準備委員会だよりは、どの範囲で配付

するのか。

(学校教育課)

寄島地区の住民への配付である。

(教育委員)

金光や鴨方の地区へはどう広報するのか。

(学校教育課)

全体に対しては、小中一貫教育についてと義務教育学校について、二つの内容を盛り込んだ「おたより」の作成をする。

(教育委員)

義務教育学校についてのことを、他の地区でも知ることができることが分かった。

(教育長)

ホームページで見れるような形にし、小中一貫教育の内容と一緒に掲載していく。

(教育委員)

市全体に回覧をされると言われたが、学校運営協議会へは今の状況を説明する必要がある。市民にももちろんだが学校運営協議会はその学校の代表なので、より早くより密度の高いものを情報提供していただきたい。

(学校教育課長)

周知していく。

(ひとづくり推進課長)

夏GAKUサプリーについて

7月25日から28日までの4日間で中央公民館、金光公民館、寄島小学校にて開催した。

中央公民館では30講座に374人の参加があった。今回は中学生ボランティアの鴨ボランティアズの生徒たちが「アクリルアート教室」や「キーホルダーづくり」、「お菓子教室」などを自ら企画し、参加した子どもたちをしっかりと指導した。企業も協力してくださり、西部ヤクルト販売の協力で「ウン知育教室」を実施。今後は学校の先生とも連絡を密にし、新しいプログラムを検討していきたい。

(金光分室長)

夏GAKUサプリーの金光公民館は15講座に245人の参加があった。学習ボランティアは金光中学校、金光学園、おかやま山陽高校、鴨方高校などの生徒46人が参加。企業の協

力は初めてミサワホームの南極越冬隊の参加者が南極クラスを開催した。

金光さつき図書館の夏イベントについて、8月19日新幹線博士になろうというイベントを開催予定。

(寄島分室長)

夏GAKUサプリーについて、寄島小学校では、7講座に214人の参加があった。寄島中学校の生徒28人や地域の方14人にボランティアとして協力いただいた。

(教育委員)

参加している子どもは目的意識も持ち、関心も非常に強い。真剣に取り組む、物作りも楽しんでいて、中高生のボランティアが教えている場面はお互いに力になると感じた。寄島地区では義務教育学校が始まるとこれがイベントではなく、日常的にこういった姿が見られるのかなと楽しみを持った。

日程7 その他について
特になし。

次回教育委員会議

定例会 令和5年9月15日(金) 13時30分から

令和5年9月15日

浅口市教育委員会

教育長 中野留美

委員 吉田英子

作成職員 平井恵美子